

事業番号	08 01 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳高原観光推進費	部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課	
		実施期間	S38 ~	E-mail	mt-tourism @ pref.nagano.lg.jp	

## 1 現状と課題

### [遭難の現状]

- ・山岳遭難はコロナ禍において一時的に減少したが、全体の傾向としては平成25年をピークに高止まりの状況が続いている。
- ・令和4年の遭難284件の約6割が7～10月のグリーンシーズンに発生し、約8割が県外者。死者全体(37名)に占める単独登山者は17名と約半数。年代別では、遭難者310人のうち60歳代以上が141人(45.5%)、うち死傷者数84人(59.6%)と最多。
- ・冬季は日本特有のパウダースノーを求める外国人登山者の増加も見込まれる。

### [課題の分析]

- ・年代を問わず、知識や経験、技術に乏しい登山初心者による遭難が増加傾向。高齢層では、身体機能の衰えに対する認識不足に起因した遭難も多い。全体として、山に対する危険認識の低さ、過信した行動が、遭難の増加を促している。
- ・遭難者の多くが県外者という実態もあり、費用負担の在り方についても検討が必要。
- ・安全・安心に登山を楽しめる環境の確立と登山者一人一人の意識の改善に向け、一層の遭難防止の取組、啓発活動が必要。特に件数が多く重症化しやすい高齢層への対策が急務。

## 2 事業目的

全国に誇る山岳県として、登山に関する安全対策を総合的に実施し、安全・安心に登山を楽しめる環境の確立を目指す。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①山岳遭難防止対策

当初予算のとおり

### ②安全登山の普及推進

当初予算のとおり

### ③信州登山案内人の認定及び育成

当初予算のとおり

### ④県山岳総合センターの運営

・指定管理料の債務負担行為の設定（指定期間：令和7年4月1日～令和12年3月31日）

※その他事業は当初予算のとおり

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	単独登山による遭難件数の割合	%	42	35	↗	37	↘	38	△	重篤化しやすい単独登山による遭難は、密を避けるコロナ禍以降増加傾向にあることから、5年以内にコロナ前の水準34%を長期目標とし、2年目であるR6年は38%を目標とする	
②	オンラインによる登山計画書の届出率	%	56	62	↗	68	↗	70	△	山岳遭難への迅速な対応強化のため、5年以内（R9年度まで）に届出率80%を長期目標とするため、2年目であるR6年度は70%を目標とする	
③	信州登山案内人の登録者数	人	457	460	↗	448	↘	465	△	過去5年間（H28～R3）の増減人数の平均（4.4人）以上となる5人以上の増加を目標に設定	
④	山岳総合センター登山講座の満足度（5点満点中4.5以上の割合）	%	92	89	↘	94	↗	80	△	コロナ感染拡大に伴い、R2、3年度は多数の講座を中止せざるを得なくなった。R4以降、講座の実施方法等を見直し実施していることを踏まえ、上位評価の割合80%を目標として設定	

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-6①	県民生活の安全確保	60歳以上の山岳遭難者数	人	2021 (R3)	113	2022 (R4)	141	2023 (R5)	145	2027 (R9)	126

## 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額				合計		決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	(予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	115,232	0	0	115,232	105,280	△	3.0
R5年度	0	82,572	23,250	△	105,822	75,623	103,719	3.0
R4年度	0	82,037	60,337	△	142,374	72,748	140,331	3.0

事業名	山岳高原観光推進費	部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課
-----	-----------	----	---------	-----	---------

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
1	山岳遭難防止対策事業		103,266 千円	67,694 千円	予算現額 65,083 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県山岳遭難防止対策協会負担金	負担金	登山者の遭難の未然防止、迅速な救助活動の推進のため、長野県山岳遭難防止対策協会が行う事業に対し、負担金を支出 山岳遭難防止常駐隊7～10月設置、山岳診療所開設支援13ヶ所、地区遭難対策協会への補助13地区		
2	山岳遭難対策用無線設備の整備	負担金	山岳遭難防止にかかわるパトロール及び遭難救助で使用する無線設備について必要な整備を実施 無線中継局2ヶ所の修繕		
3	山岳遭難防止対策推進員の設置	直接	山岳観光及び山岳遭難防止活動の推進のため、山岳遭難防止対策推進員を設置 山岳遭難防止対策推進員1名を配置		
4	涸沢山岳総合相談所管理委託	委託	安全登山のための注意喚起や山岳情報等提供を行うため、涸沢山岳総合相談所の維持管理を委託 相談所開設期間4～11月(8か月)		
5	涸沢山岳総合相談所の修繕	直接	北アルプス南部の登山者の安全を守る拠点として設置する涸沢山岳総合相談所を冬季の過酷な状況から保護するため必要な整備を実施 雪崩防止籠等補修工事		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
2	安全登山普及推進事業		6,636 千円	6,668 千円	予算現額 6,672 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	条例の周知と安全登山の啓発	直接	条例の周知、安全な登山の啓発、及び信州の山の魅力を発信するための広報を実施 信州山岳アカデミー WEB・登山用品店等 計5回、夏山イベントにおける啓発(夏季)		
2	登山計画書を提出しやすくする環境の整備	直接	FAXによる登山計画書の受理など登山計画書の届出環境を整備 FAXによる届出数 約700件/年、条例看板の修繕予定数 3ヶ所		
3	登山ポスト回収事務費補助金	補助金	登山計画書の回収及び管理事務を地区遭対協と県の協働で実施するため、地区遭対協等が実施する登山ポストからの登山計画書回収費用の一部を補助 補助対象 地区遭難対策協会等、登山ポスト数93ヶ所		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
3	信州登山案内人利用促進事業		3,856 千円	4,694 千円	予算現額 4,342 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州登山案内人試験及び登録事務	直接	信州登山案内人試験の実施及び登山案内人の登録等を実施 試験の実施 年1回、資格更新登録120人/年		
2	既有資格者の資質向上	直接	信州登山案内人能力向上研修（実技、座学）の開催 研修開催数 実技研修10回程度、座学研修2回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
4	山岳総合センター管理運営事業		28,616 千円	26,766 千円	予算現額 39,135 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	山岳総合センター指定管理料	指定管理	山岳総合センター指定管理料 受託者：一般社団法人長野県山岳協会事業管理 安全登山講座、野外活動講座の開催 約80回		
2	山岳総合センター及び人工岩場修繕工事	直接	昭和44年に開設した山岳総合センター及び平成5年に完成した人工岩場の老朽化した設備等の改修工事を実施 山岳総合センター合併処理槽更新工事、人工岩場アンカーボルト等更新工事		